

〔果樹〕

1. 常緑果樹

1) 温州ミカン

九州の温州ミカンは裏年にあつたが、産地によっては隔年結果の是正に成功し、生産量はやや不作からやや豊作と様々であつた。発芽期も鹿児島県の極早生で平年より5日遅くなつた一方、佐賀県では4日早くなるなど地域によって異なつた。成熟期はおおむね平年並みであつたが大分県の普通温州では10日遅れた。梅雨期は九州北部で少雨傾向であつたが、気圧の谷や九州の南に停滞した梅雨前線の影響で平年の8割程度の日照時間となつた。また、8月に入ると記録的な日照不足と特に九州北部では多雨に見舞われた。9月中旬以降、日照時間は平年並みに回復したものの、極早生では平年並みかやや不良の食味となつた。また、黒点病が平年より発生がやや多かつたほか、浮皮果も早生と普通温州でやや多発した。

2) 「不知火」系統品種

熊本県では発芽期、開花期とも平年並みとなつた。着花量は少なく果実も肥大良好であつたが、やや不作となつた。減酸は平年並みとなつたものの糖度は平年より1.7度も低く食味は不良となつた。樹上でもこはん症が発生し、外観不良の果実が多発した。

3) ポンカン

大分県では平年より5日早く発芽した一方、宮崎県と鹿児島県ではともに1日遅れた。着花量は少から平年並みで果実肥大は良好、生産量は平年並みとなつたが、鹿児島県では台風等により風傷果が多発したため不作となつた。減酸は平年並みからやや早かつた一方、糖度は平年並みから1.2度低くなり食味はやや不良となつた。

4) ヒュウガナツ

宮崎県では発芽が平年より2日遅れたが5日早く開花した。着花量と果実肥大は平年並みで生産量も平年並みとなつた。減酸は早く糖度は平年並みで食味も平年並みとなつた。

5) 甘夏

熊本県と大分県では平年よりも1日早く発芽した。果実肥大は両県とも平年並みとなつたが生産量は大分県で平年並みであつたのに対して熊本県ではやや不作となつた。減酸は平年並みか早く、糖度も平年並みか0.7度高くなり、熊本県では食味良好となつた。

6) タンカン

鹿児島県と沖縄県では平年並みあるいは2日程度遅く発芽した。果実肥大は良好だったが台風害並びに収穫期の鳥害等によりやや不作となつた。減酸は平年並みあるいは早くなつたが糖度は低く、食味は平年並みからやや不良となつた。

7) シークワーサー

沖縄県では発芽、開花とも平年並みの時期となつた。着花量はやや多く果実肥大も良好で豊作となり、食味も良好だった。

8) ビワ

着花は長崎県でやや少なかつた一方、鹿児島県ではやや多となつた。果実肥大は平年並みで生産量は長崎県で平年並み、鹿児島では豊作となつた。糖度は0.5度程度高く食味は平年並みか良好であつた。長崎県では風傷のため果実の外観がやや不良となつた。

2. 落葉果樹

1) ナシ

発芽は大分県で平年より5日遅かったほかは3-5日程度早かった。着花量はおおむね平年並み、生産量は宮崎県と熊本県の「幸水」で豊作、福岡県、長崎県及び鹿児島県の「幸水」と大分県の「豊水」で平年並みであった一方、佐賀県の「幸水」はやや不作であった。果実肥大は大分県と宮崎県で良好であった一方、福岡県では不良であった。8月の記録的な日照不足のため、いくつかの産地では糖度が平年以下となった。

2) カキ

発芽はほぼ平年並みの時期となった。着花量は平年並みあるいは多く、果実肥大も平年並みあるいは良好であり、生産量は平年並みからやや豊作となった。糖度は熊本県の「太秋」と宮崎県の「富有」は平年並み、福岡県の「富有」は平年に比べ0.9度高く食味良好だった。福岡県と宮崎県の「富有」ではへたすき果が目立った。

3) ブドウ

発芽は福岡県の「巨峰」と大分県の「ピオーネ」で平年より遅くなったほかは平年並みか最大で8日早かった。果実肥大は長崎県と鹿児島県の「巨峰」で良好だったが、熊本県では不良となった。生産量は佐賀県と長崎県の「巨峰」及び宮崎県の「ハニービーナス」でやや不作となった他はおおむね平年並みであった。8月の記録的な日照不足のため、果実の糖度が上がらず着色も遅延した産地も多かった。佐賀の「巨峰」では晚腐病が平年よりも多発した。

4) モモ

福岡県と宮崎県では平年より5日程度、早く開花した。果実肥大は福岡県の「あかつき」で平年に比べ良好で生産量は平年並み、一方、宮崎県ではやや不作となった。福岡県では糖度が平年より2.4度高く、食味も良好となった。

5) キウイフルーツ

福岡県の「ヘイワード」では発芽が平年に比べ8日早く開花も2日早まった。着花量は平年並み、果実肥大は良好でやや豊作となった。減酸は平年並みに進み糖度は1度高まり食味は平年並みとなった。

6) イチジク

福岡県では果実肥大が平年よりも劣ったもののやや豊作となった。8月の記録的な日照不足と長雨のため、糖度が平年よりも1.4度低く食味もやや不良となった。

7) マンゴー

沖縄県では台風8号による暴風雨を被ったもののやや豊作となった。果実肥大ならびに食味は平年並みであった。

9) パインアップル

沖縄県では発芽と開花が平年よりもそれぞれ6日と9日ほど遅れた。着花量は平年並み、果実肥大は良好で生産量は平年並みとなった。糖度は平年に比べ0.4度高く食味は平年並みとなった。